

報道関係者各位
プレスリリース

2014年1月8日
株式会社アイ・オー・データ機器
クラウディアン株式会社

アイ・オー・データ機器とクラウディアン、
NAS 製品 HDL-XRW シリーズと Cloudian の相互接続性を公式認定

～ オフィス内 NAS に格納したファイルを
パブリック、プライベートクラウドストレージに同期・バックアップ～

株式会社アイ・オー・データ機器（本社：石川県金沢市、代表取締役社長：細野 昭雄、以下アイ・オー・データ）とクラウディアン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：太田 洋、以下、クラウディアン）は、アイ・オー・データの NAS（ネットワーク接続型ハードディスク）製品 HDL-XRW シリーズと、S3 API 完全準拠のパブリック及びプライベートクラウド、エンタープライズ IT に国内外で商用採用されているソフトウェアベースのオブジェクトストレージ製品、Cloudian（R）との接続検証を実施し、相互接続性を公式認定しましたのでお知らせいたします。

アイ・オー・データの NAS 製品 HDL-XRW シリーズは、従来よりクラウドストレージ同期機能を備えており、格納したファイルを Dropbox、Amazon S3 に同期・バックアップすることができました。2013年12月には、NTT コミュニケーションズの「Biz ホスティング Cloudⁿ Object Storage」との同期機能も検証し、相互接続性を認定しています。

Cloudian は、Amazon S3 の API に完全準拠する API を提供するソフトウェアベースのオブジェクトストレージ製品であり、汎用的なサーバーをハードウェアとして利用し、複数のサーバーに搭載された多数の内蔵ディスクをひとつの大きなストレージ領域として統合制御し、大量のデータを経済的に、かつ信頼性高く格納することを可能にします。

Cloudian とアイ・オー・データの NAS 製品 HDL-XRW シリーズとの相互接続性については、「Biz ホスティング Cloudⁿ Object Storage」のストレージ基盤に Cloudian が採用されていることから、パブリッククラウド環境では確認されていましたが、このたび、プライベートクラウドやエンタープライズ IT の利用環境において改めて両社で検証確認したものです。

これにより、オフィス内の NAS に格納したファイルは、パブリッククラウドだけではなく、保存先設定を変更するだけで簡単に Cloudian で構築するプライベートクラウドや企業構内のオブジェクトストレージにもファイルを格納することができます。お客様はデータの種類、IT ポリシー、地域冗長、事業者分散等といった必要に応じて NAS に格納したファイルのバックアップ先を柔軟に選択し利用することが可能になります。

アイ・オー・データ 執行役員 事業戦略部 部長 土田智巳は次のように語っています。

「このたび、Cloudian との相互接続性について検証し、公式認定できたことを喜んでいきます。Cloudian は S3API に完全準拠していることから、すでに Amazon S3 対応している弊社 NAS 製品 HDL-XRW シリーズとの相互接続性検証は、たいへんスムーズに実施できました。Cloudian は日本の代表的なパブリッククラウドストレージサービスに採用されており、さらに多くのサービスと連携対応できると期待しています。」

クラウドファン 代表取締役社長の太田 洋は次のように語っています。

「アイ・オー・データの NAS 製品 HDL-XRW シリーズから Cloudian にデータを同期・バックアップできることを検証し公式認定できたことを喜んでいますが、一般的に NAS は PC 等の外付けストレージとしてや、障害時のバックアップを目的としたデータの保存先と考えられていますが、クラウドストレージと連携することで、NAS を経由して保存するデータ量を拡張できると同時に、災害等に備えたデータのバックアップも可能になります。お客様に身近な NAS がゲートウェイ（入口）となることでパブリッククラウドだけではなく、プライベートクラウドやエンタープライズ IT 分野においても Cloudian で構築したオブジェクトストレージ基盤を利用いただく機会が増えてくるものと考えています。」

■ 「HDL-XRW シリーズ」について

HDL-XRW シリーズは、Western Digital 社の NAS 用ハードディスク「WD Red」を 4 基搭載し、高い信頼性とハードディスクを含む製品の 3 年保証を実現したビジネス NAS です。ハードディスク故障時のデータ損失リスクを大幅に低減する RAID 6、レプリケーション機能など NAS 自身をバックアップする仕組みも搭載し、優れた耐障害性能も有しています。

「HDL-XRW シリーズ」の詳細は次のサイトをご覧ください。

<http://www.iodata.jp/product/hdd/lanhdd/hdl-xrw/>

■ アイ・オー・データについて

アイ・オー・データ機器は高度化・多様化の一途をたどる情報社会の中、30 年以上に渡り培ってきた技術を用いて、多様なニーズにお応えする時代を見据えた製品展開を行っております。

2003 年 11 月に初めて NAS 製品を発売以来、製品の改良を加え続け、大切なデータを安心して保存いただける製品として市場に受け入れられてきました。全国 8 カ所に事業拠点を、日本、台湾、香港に子会社を有しています。

ホームページ：<http://www.iodata.jp/>

Facebook：<https://www.facebook.com/iodata/>

■ Cloudian（クラウドファン）について

Cloudian は S3 API 完全準拠で、マルチテナントやマルチデータセンターに対応するソフトウェアベースのオブジェクトストレージ製品です。エンタープライズ IT やサービス事業者は、パブリッククラウドやプライベートクラウド環境で、拡張性や信頼性の非常に高いオブジェクトストレージを展開できます。Cloudian は完全分散型の、ピア・ツー・ピアのアーキテクチャーを持ち、単一障害点がありません。また、エンドユーザーのアプリケーションだけでなく、課金、監視、プロビジョニング等の管理機能にも対応する包括的なユーザーインターフェースも提供しています。ノード 2 台から、複数のデータセンターに跨る数百台のノードまで拡張可能であり、ペタバイト級のデータに対応し、異種混在の汎用サーバーを用いて、コスト効率の高い水平拡張を実現します。

「Cloudian」の詳細は次のサイトをご覧ください。

<http://cloudian.jp/cloud-storage-products/cloudian.html>

■ クラウドファン株式会社について

クラウドファンは、ソフトウェアベースのオブジェクトストレージ製品である Cloudian をはじめ、これまで国内外の通信事業者向けの大規模分散型システムを開発提供してきています。主なお客様は NTT 東日本、NTT ドコモ、NTT コミュニケーションズ、ニフティ、ネクステルインターナショナル、ボーダフォングループ、T モバイルグループ、アルカテルルーセント、ルナクラウドなどです。日本、米国、中国に事業拠点を有しています。

ホームページ：<http://cloudian.jp/>

Facebook : <https://www.facebook.com/cloudian.cloudstorage.S3>
Twitter : https://twitter.com/Cloudian_KK
ブログ : <http://www.gemini-bigdata.com/>

※本文書内の商標や登録商標はすべて各所有者の資産です。

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社アイ・オー・データ機器
担当：販売促進課 濱（はま）・米澤（こめざわ）
電話：076-260-3625
Email : kouhou-pub@iodata.jp

クラウドファン株式会社
担当：経営企画室 本橋
電話：03-6418-6466
Email : info@cloudian.com